

児童発達支援事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和5年 1月27日

事業所名：こども発達さぼーとセンター るぼろ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用希望者が多く、丁寧な関わりを心がけていくため、2部屋を利用し同時並行でグループを行っています。可能な限り活動に応じて場所を使い分け密にならないように取り組んでいます。	はい 27 どちらでもない 1 いいえ わからない 1	・玩具の部屋と活動スペースが一緒になったので気持ちの切り替えができてくるのか少し不安 ・廊下も広く、子どもが自由に動けるスペースがあると思う	ひと部屋の中で気持ちの切り替えがしやすいように、今からする活動に必要なものを収納できるスペースを作っています。
	2 職員の適切な配置	基準は満たしています。各グループにおいては、2～3名の職員で対応し、必要に応じて専門職員も日中活動に参加し子どもに関わるようにしています。	はい 31 どちらでもない いいえ わからない	・担当を決めてくれているようで終わりの時の様子を伝えてくれる時分かりやすい	引き続き、利用児も保護者の方も安心できる職員配置を心がけていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	必要に応じて絵カードでスケジュールを提示したり、活動の手順を写真で提示したりしています。同時並行グループの時には自分の部屋がわかるようにドアにグループのイラストを張っています。欲しい玩具を写真で選んで要求できるように写真を提示しています。	はい 27 どちらでもない 1 いいえ わからない 2	・トイレに入るのを嫌がる。暗い印象なので明るくしてほしい。 ・子ども達が動きやすいように考えて時々部屋の模様替えをやってくれているので色々考えてくれているんだなと思う	子供たちの好きなキャラクターや電車の線路をはったりしながら楽しくトイレにむかえるようにします。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎朝清掃をしています。使った遊具や室内は終了次第、除菌ふき取りをするなど環境を整えています。毎回活動終了後に滅菌庫で玩具の消毒も行っています。	はい 30 どちらでもない いいえ わからない		引き続き、消毒などを行いながら清潔で心地よく過ごせる空間を確保していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	月に1回の職員会議や5週目等の療育が休みの日を利用して業務改善の内容を検討しています。また、必要に応じて時間を作り会議の場を設けています。	/		引き続き、会議の中で業務改善を検討していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していません。	/		必要があれば検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職員がそれぞれ必要な研修に参加したり、職員同士でグループスーパービジョンを行っています。	/		今後も職員の資質の向上のための会議や研修を行っていきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	各担当者が実際に子どもの姿を見て、支援計画の作成を行っています。また、職員会議等において支援方法についての相談ができる時間を設けています。	はい 30 どちらでもない いいえ わからない	・振り返りの時に親の気持ちをしっかりと聞いてくれて計画を立ててくれるので安心してお願いできる	引き続き、子ども達の発達に応じた支援計画を作成していきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援計画の中で専門用語を少なくし、できるだけ具体例を挙げるなどしてわかりやすく書けるように努めています。	はい 29 どちらでもない いいえ わからない 1		支援内容に関して抽象的な内容ではなく、具体的に実施できる内容を記載していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	療育後に職員同士で振り返りをしながら現状把握と実施内容の見直しを行っています。	はい 28 どちらでもない いいえ わからない 2		引き続き振り返りを行いながら支援計画に沿った適切な支援を行っていきけるようにします。
	4	チーム全体での活動プログラムの立案	月に1回実施している保育士会議で月間活動予定を立てることで全体の活動の見通しを持ちながら、各グループの担当で相談し詳細な活動内容を決定しています。	/		引き続き、チーム全体で活動プログラムを立案していきけるように会議を実施していきます。
	5	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休みによる時間の変更は行っていません。	/		今後、休日を利用した親講座等の保護者支援ができるように考えていきます。
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	必要に応じて身支度活動等はある程度固定化して定着を図っています。また、季節に応じた遊びや活動を取り入れることで基本的な成長、発達の支援をしています。	はい 28 どちらでもない いいえ わからない 2	・他の療育での活動も取り入れて子どもにより良い保育をしていると思う	引き続き、必要に応じて定着を図りたい活動は固定化していきます。併せて、子どもの発達に応じた活動を考えていきます。
	7	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	担当者同士で活動内容や役割を相談してから活動を行っています。	/		
	8	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	担当者間で療育終了後や時間を合わせて話し合い、子どもの気になった部分があれば次回どうするか等の話しをしながら記録をとっています。	/		
	9	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	記録を見ることで子どもの姿が捉えられるような日誌になるようにしています。それを基に支援の改善を考えています。	/		
	10	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に1回支援計画の見直しを行っています。モニタリングは他事業所を含め、月に1回子どもの要求を共有しています。	/		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	子どもに応じて小集団や個別療育の担当者が担当者会議に参加しています。		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者を通じて、または保護者の了解を得たうえで、園、所との連携を行っています。園、所の担任の先生が見学にこられることもあり、子どもの状態や情報を共有しています。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要に応じて専門機関との連携をしています。		
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	併設しているこども園の児童と園庭で遊んだり、園外活動を通して障害のない子ども達との交流する機会を作っています。	はい 27 どちらでもない いいえ 1 わからない 2 ・公園に連れて行ってってくれるので子どもはすごく喜んでいると思う ・公園に行ったとは話は聞くが、他の場所は分からない。	引き続き、施設内のこども園や地域の児童と関わる機会を持っていきます。その際は保護者の方にも交流の様子をお伝えしていきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	実施できていません。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・毎回契約時に重要事項説明書で説明をしています。契約内容の変更時には変更内容をお伝えしています。療育終了後のフィードバックで毎回支援内容をお伝えしています。新型コロナウイルス感染症の拡大等必要に応じて連絡帳での子どもの様子の共有の仕方を工夫しています。	はい 30 どちらでもない いいえ わからない	引き続き、活動や支援内容を丁寧に伝えていきます。また新型コロナウイルス等の感染状況に応じ、保護者への伝え方を検討していきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画は保護者の方に時間を頂き、読み合わせながら内容の確認を行っています。了解を頂き捺印をして頂いています。	はい 29 どちらでもない いいえ わからない 1	支援計画を説明する時には分かりやすい説明を心がけていきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	年に数回親講座を実施し、保護者の方に参加していただいています。保護者のニーズに応えられるように内容も工夫しています。また講座前や講座後にはアンケートを行い、よりよい講座内容を行っています。	はい 29 どちらでもない いいえ わからない 1	・何度か親講座に参加させていただきました。色々と聞けて勉強になった 引き続き保護者のニーズに合わせた講座を開催していきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	小集団療育後のフィードバックや連絡帳のやり取りやお電話等を通して子どもの様子を共有しているようにしています。	はい 29 どちらでもない いいえ わからない 1	引き続き児童について保護者と共通理解を深めていけるよう努めていきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者の方から相談があったときには面談の時間を設定し、個別でお話をさせていただいています。	はい 30 どちらでもない いいえ わからない	引き続き、相談しやすい関係を築き、安心して子育てしていけるよう丁寧に対応していきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会を設けていませんが、保護者支援も大きな目標の一つです。卒園児の保護者を招いて就学前の座談会や親講座を通して保護者が話しやすい環境を作っています。今年度は保護者交流会を企画しています。	はい 23 どちらでもない 3 いいえ わからない 4	・振り返りの時間など穏やかな雰囲気づくりをしてくれていると思う 実施した保護者交流会を通して参加者の意見を聞きながらニーズに応じた交流会を企画していきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	重要事項説明書に記載しており、契約時にもお話をしています。苦情があったときには当日に保護者と面談を行ない対応しています。	はい 16 どちらでもない 2 いいえ わからない 12	・特に苦情がないのでわからない ・苦情を訴える事がないため、どのような対応がなされているのか不明 引き続き迅速な対応を心掛け、保護者が安心して利用できるよう努めていきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	小集団終了後に毎回フィードバックを行うたり、連絡帳のやりとりをさせて頂いています。写真やビデオでお伝えすることもあります。またお知らせ等はメール配信とお便りを配布を行い、情報を伝達しています。	はい 30 どちらでもない いいえ わからない	引き続きわかりやすい情報伝達や意思の疎通を心掛けていきます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月のるぼろ便りをメールで配信し、各グループの活動紹介、連絡事項を掲載しています。また、月の活動予定表もメールで配信しています。	はい 30 どちらでもない いいえ わからない	引き続きわかりやすい情報伝達を心掛けていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に個人情報の取り扱いについて説明し、了承を得たうえで同意書にサインを頂いています。職員の意識向上にも気を付けています。	はい 30 どちらでもない いいえ わからない		引き続き個人情報の取り扱いには十分配慮していきます。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・はおとの森こども園と一緒に感染症対策委員会を立ちあげて、時々研修を行っています。また、流行時期に合わせて情報発信をしています。	はい 29 どちらでもない 1 いいえ わからない		引き続き感染症対策委員会の研修を行い、保護者の方にも情報を発信していきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	毎月1回、施設全体で様々な場면을想定し訓練を実施しています。	はい 13 どちらでもない 3 いいえ わからない 14	・週1回なので避難訓練があるのかわからない ・子どもは何をやっているか分かっていないと思うけどやることでいざという時に変わってくると思う ・通所日に訓練が行われていることがないので不明	引き続き避難訓練を実施すると共に避難訓練の様子をお便りでお伝えしていきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止に関する責任者を選定し、虐待の防止を啓発・普及するための研修を実施しています。	/		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	重要事項説明にも記載し説明をしています。必要がある場合は個別に保護者との懇談を重ね双方承知、合意のもと行うこととします。	/		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時に保護者に確認、チェック表の記入をして頂き必要であれば調理師との懇談をして頂きます。クッキング等で食材を扱う時には、保護者の方に使用する食材の中でアレルギーがないか確認をしています。	/		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリとした場面があったときには報告、記載し、状況を周知できるように報告しています。ヒヤリに気づけるように職員間で声を掛け合っています。	/		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか	楽しんで通所できるよう各グループで療育内容を検討し支援者も楽しんで活動を行っています。	はい 28 どちらでもない 1 いいえ わからない 1	<ul style="list-style-type: none"> ・行ったら楽しいが、玄関でいつも涙のお別れなので行くのが楽しみかどうかは分からない ・予定表を毎回行く前日に見て楽しみにしている ・毎回楽しみに通っている ・次の通所日の確認をして何をする？と質問をしてることがほとんど 	引き続き月の活動予定表を配布し安心して通所できるよう努めていきます。また来所時に不安そうな児童にはフィードバック時に丁寧に様子を伝えていき、保護者の方に安心して頂けるように努めていきます。
	2 事業所の支援に満足しているか		はい 30 どちらでもない いいえ わからない	<ul style="list-style-type: none"> ・わが子が「楽しかった」といつも言っているので安心して通わせることができる 	今後も児童や保護者のニーズに沿った支援が出来るよう多職種で連携を取りながら支援の向上に努めます。